

アジア・太平洋戦争時・神戸港における朝鮮人・中国人・連合軍捕虜の足跡を刻む モニュメント(石碑) 建立募金のお願い

日々ご健勝のことと存じます。

神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会は、1999年10月の結成以来、調査活動を継続し、その成果を『神戸港強制連行の記録 - 朝鮮人・中国人そして連合軍捕虜 - 』（2004年1月、明石書店）およびブックレット『アジア・太平洋戦争と神戸港 朝鮮人・中国人・連合軍捕虜』（2004年2月、みずのわ出版）として発表してきました。また当時神戸港で強制労働を強いられた朝鮮人・中国人・連合軍捕虜をお招きして、実際に神戸の地でお話をうかがうこともできました。

私たち調査する会には結成当初からもうひとつの目標がありました。それがこの歴史的事実を刻むモニュメント(石碑)の建立です。このモニュメントの建立がいよいよ実現の運びになりました。除幕式は、7月21日に開く予定です。

建立予定地・碑文等は以下のとおりです。

建立予定地：神戸市中央区海岸通3-1-1 KCCビル前

石碑の名称：神戸港 平和の碑

碑文：アジア・太平洋戦争時期、神戸港では労働力不足を補うため、中国人・朝鮮人や連合軍捕虜が、港湾荷役や造船などで苛酷な労働を強いられ、その過程で多くの人々が犠牲になりました。私たちは、この歴史を心に刻み、アジアの平和と共生を誓って、ここに碑を建てました。

2008年7月21日 神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会

(中国語、朝鮮語、英語も併記)

このモニュメント(石碑)建立のために募金活動を行います。具体的な費用は以下のとおりです。

	(万円)
石碑	170
中国人ゲスト2名招待	40
ブックレット再版費用	20
記念誌出版費用	30
除幕式典関係費	20
その他費用	20
合計	300

調査する会は、みなさまの協力をえて、このモニュメント建立の事業を完成させたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

送金先：郵便振替口座<00920-0-150870 神戸港調査する会>

募金目標：300万円

2008年4月

神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会

代表・ 安井三吉(神戸大学名誉教授)

副代表・ 徐根植(兵庫朝鮮関係研究会代表)

副代表・ 林伯耀(旅日華僑中日交流促進会事務局長)

事務局長・ 飛田雄一(神戸学生青年センター館長)

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 神戸学生青年センター内

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

ホームページ <http://ksyc.jp/kobeport/> e-mail hida@ksyc.jp